

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

2023.01

< 2023.01 >

BULLETIN

2022年7月～2023年6月



国際会長 K・C サミュエル「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」(インド)
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン「新しい時代と共にエレガントに変化を」(台湾)
東日本区理事 佐藤重良「未来に向けて今すぐ行動しよう」(甲府 21)
関東東部部長 工藤大丈「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじる。
すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」(東京ベイサイド)
クラブ会長 樋口順英「安全・愉快・安心」(東京グリーン)

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 樋口 順英
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 木村 卓司

1月 新しい歌を

「新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。主に向かって歌い御名をたたえよ。日から日へ御救いの良い知らせを告げよ」(詩篇 96 編 1～2 節)
:新年にあたり、身も心も新しく主に向かい合おう。良い知らせが告げられるように。

2023年 1月例会 (リアル+Zoom)

新年のご挨拶 樋口 順英

日時:2023年 01月18日(水) 17:00～19:00
場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター、Zoom
受付:青木君、進行:西澤君
開会点鐘 樋口会長
ワイズソング・ワイズの信条 全員
聖句・お祈り 西澤君
ゲスト・ビジター紹介 樋口会長
ゲストスピーチ
須永 達夫様 (元三井金属鉱業(株)代表取締役副社長)
演題「金(きん)のよもやま話」
報告
・50周年記念例会の準備
・神田川催行準備、その他
YMCA 情報 木村君
Happy Birthday (5名:木村、佐野、根本、樋口各メン新倉メネット)
閉会点鐘 樋口会長
★ご出席の方は1/16までに樋口メン迄ご連絡ください。

明けましておめでとうございます。

今年、メンバーおよびご家族の皆さま方の心身の健康とご多幸を祈念いたします。

東京グリーンクラブは今年設立50周年を迎えます。

私が入会するはるか前から長年メンバーとしてご活躍されてきた方々に敬意を表すると共に、50年に亘りご支援いただいた YMCA はじめ、ワイズ各位ほか各方面のさまざまな方々に感謝申し上げます。3月には、記念例会を開催させていただき、次のスタート地点に立ちたいと思います。



ことしも、「安全・愉快・安心」で、いきましょう!

さて、コロナ禍の中で3年目のお正月を迎えました。その間われわれは、安全・安心第一を考え、例会のZoom化や、開始時刻を早めてまいりました。

しかし現役の方々や、Zoom接続が難しい方々には参加しにくくなり、申し訳なく思います。

そこで、ことしは活動内容を逐次こまめにご連絡するとともに、例会は、コロナ禍の様子を見ながら感染対策に留意し、できるだけリアル開催とし、開始時間は従来どおり18:30とし、多くの方々のご参加により、一層楽しい会にしていきたいと考えます。

【例会出席率】 在籍:14名 12月出席率8/12 67%
出席:12月クリスマス例会(東京 YMCA 東陽町センター)
(メン8名、メネット0名) 計 8名
【ニコニコ】 クラブより YMCA 支援に寄付7,500円

◆2022年12月 第一例会 報告

2023年12月第一例会は、「静かにささやかに、布上さんを偲ぶ会」と称し、12月21日(水)15:00～17:00 東陽町センターにて「クリスマス例会」を行いました。

出席は、青木、柿沼、佐野、木村、高谷、塩入、樋口、各メンの8名でした。



布上さんの遺影の脇に、柿沼家の庭に咲いた赤い花を一輪お供えし、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、青木メンによる聖句とお祈り、「きよこの夜」合唱、黙とう、



【上:合掌する高谷メン】 が持ち寄ってのクリスマス会となりました。バック音楽には、布上さんが好んで唄った里見浩太郎の「花冷え」「新潟のひとよ」が流れました。

献杯と続きました。その後、老舗「大新」の弁当に加えて駅近のケンタッキー店からチキンを購入してきて、飲み物はビール、日本酒、ワイン、梅酒を各メンバー

部、区報告事項

- ① 2/4-5東西日本区交流会(於:神戸):1名(樋口)申し込みした。
- ② 1/7(水)12:00～在京ワイズ合同新年会:早稲田教会。同、ウクライナ支援チャリティコンサートあり
- ③ 1/28子育て講演会がZoomで。無料
- ④ 2025-26年度東日本区理事および行政監事候補者推薦依頼があり、当クラブに該当者なし
- ⑤ 11月臨時代議員会の郵便投票で、2024-25年度東日本区理事が50/72票で可決した。
- ⑥ 京都パレスの12月号ブリテンに、11月神田川船の会参加報告など掲載された。(ブリテン回覧)

クラブ報告事項

- ① 来年のリアル例会は、できるだけ18:30開催にしていきたい。
- ② 1/18(水)17:00の1月例会は、ハイブリッドによる卓話者は、須永達夫様、「金(きん)のよもやま話」。
- ③ 布上さんのPCデータはHDD2台とUSB4本(50周年2本、小冊子、ブリテン)に確保した。

(樋口 記)

◆2023年1月 第一例会のご案内

2023年1月18日(水)

17:00～19:00ハイブリッド開催

わたしたち東京グリーンクラブは、23年1月の例会の卓話に、須永達夫様をお招きしました。

須永様は、お仕事柄、金(きん)への憧憬が深く、このたびは金にまつわる興味深いお話をさせていただきます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

講師 須永 達夫 様、

(元三井金属鉱業(株)代表取締役副社長)

「金(きん)のよもやま話」

- 1)金という金属の特性
- 2)人類と金の関わりの歴史
- 3)日本における金の産出と金鉱山の発見
- 4)日本における金が大量に使用された建造物
- 5)金のかかわりのあったいろいろな日本人、

◆須永 達夫 講師 プロフィール

【略歴】1942年3月生まれ、80才、東京都出身

【職歴】1965年三井金属鉱業(株)入社、勤続43年

【個人活動】都内史跡などボランティアガイド

【趣味など】読書、旅行・散歩(史跡廻りなど)

◆参加費:会場参加者:¥1,200(お弁当代)

◆Zoom視聴者:無料

Zoomでの例会ご参加ご希望の方は、樋口(下記)までご連絡いただければ、ZoomのURLをお送りいたします。

★準備等の都合上、1月16日までに下記連絡先までお知らせください。

(連絡先:樋口 順英 080-5452-2480)

nhiguchi@xqe.biglobe.ne.jp

◆2023年1月 第二例会 報告

2023年1月11日(水)15:00~16:30 Zoom 開催

出席者:青木、柿沼、西澤、木村、樋口各メン

<クラブ役員会協議内容>

- 1) 1月18日(水)1月第一例会次第の確認
1月例会は、新春を祝って食事の前に日本酒(クラブ会計から日本酒:剣菱程度を購入)で当日の出席者全員で乾杯をする。
Zoom 参加者、リアル参加者の確認
司会進行:西澤メン、卓話レジュメ、Happybirthday 確認等
 - 2) 2月15日(水)2月第一例会の検討
18:30リアル例会か、議題は、50周年記念例会準備に向けた確認をメインとする
 - 3) 設立50周年記念例会準備の進展状況につき意見交換を行った。別途整理してメンバに連絡(柿沼メン)
 - ① 懸案事項の整理とスケジュール
 - ② 当日の役割分担
 - ③ 参加者申込状況
 - ④ ミニコンサートのプログラム決定(P3.右欄参照)
 - 4) 2023年神田川船の会の日程案の提案(目黒メン)
下記につき提案あり、1/18(水)第一例会または2/8(水)2月第二例会にて審議する。
 - ① 第87回:6/3(土)ないし 6/10(土)
 - ② 第88回:10/28(土)ないし 11/4(土)
 - 5) 次期国際会長及び三役の選挙 会長、会計、国際議員候補の紹介、国際投票は会長に一任する。
 - 6) ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年記念式典 3/9~13 於;台北 参加希望者は?現状なし
 - 7) 例会の司会進行役、ブリテン巻頭言の筆者を輪番制にすることにつき審議
 - 8) 次年度クラブ役員を選任について(1/Eまでに) 会長候補者を決め、第一例会で決定する。
- <報告事項>
- 1) 2/4~5(日)東西交流会参加申込み報告(当クラブは1名)参加費¥20,000/人
 - 2) 機関紙東京 YMCA2023年1,2月合併号ワイズコーナーに、東京グリーンの紹介が掲載された。
 - 3) 1/28(土)子育て講演会、お孫さんに紹介ください。
 - 4) 2022年東京 YMCA 会員活動中間報告、会計報告があり。(在京ワイズ会長会より)

- 5) 半年報報告(22-23年度後期)会員数14名(前年度15名)休会1名にて報告した。
 - 6) Change! 2022ニュース最終号(No42)発行、配布されたので、例会時に配布する。
 - 7) 昨秋11月26日に実施の立教大学 YMCA OB 会のクルーズに関し、大きな反響があったことが報告された。(OB 会光塩会会長高谷メンより)
- (樋口 記)

◆設立50周年記念例会準備状況報告

- 1) 記念例会開催日時、場所
 - ・日時:2023年3月21日(祝)13:30~16:30
 - ・開催会場:KKR ホテル東京 10F
(東京メトロ東西線竹橋駅下車)
- 2) 懸案事項
下記懸案につき話し合い、詳細内容については、メンバー宛別途ご連絡します。
 - ① 50年史の冊子
 - ② クラブ50年間のアーカイブの写真画像作成(布上メン作成中のものを引き継ぐ)
 - ③ 物故した会員(3名)の映像作成
 - ④ 式次第・スケジュールの作成
 - ⑤ 会場の飾り付け、使用機器、詳細打合せ
 - ⑥ クラブの進行係等役割分担
 - ⑦ ミニコンサートの詳細打合せ(樋口)
- 3) ミニコンサートのプログラムが下記決定しました。

<曲目>

- ♪ J. ハイドン ピアノ三重奏曲第25番ト長調
「ハンガリー風」
- ♪ C. ドビュッシー ピアノ三重奏曲ト長調より
第3楽章
- ♪ シャンソン3曲
「僕の心はヴァイオリン」
「シャンゼリゼ」、「ラメール」
- ♪ R. シューマン 歌曲集「ミルテの花」より「献呈」

<演奏>ピアノトリオ「アンディムジーク」

山影 桂子 ピアノ
伊藤 健汰 ヴァイオリン
藤原 健太 チェロ

『同志少女よ、敵を撃て』

著者 逢坂冬馬（早川書房）2021

2022年本屋大賞受賞、

第11回アガサ・クリスティー賞大賞受賞



1942年2月、ナチスドイツがソ連へ攻め込んでいた時代、ソ連東部の寒村イワノフスカヤ村がこの物語の舞台である。

猟師の母を持つ少女セラフィマは、ある日ドイツ軍が侵攻し村民を皆殺しにする悲劇を目撃する。その時、母がイエーガーというドイツ軍狙撃手に撃た

れた事を同僚の会話から知る。その直後、追ってきた味方のソ連赤軍の女性兵士イーナに助けられた。イーナはセラフィマに「戦いたい、それとも死にたいか」を問うた後、家もろとも母親の遺体を燃やしてしまった。ドイツ軍に利用されないための焦土作戦であった。

悲しみをのり超えて強烈な怒りを覚えたセラフィマは、母を殺したイエーガーと母を焼いたイーナに復讐することを誓い、イーナの下で女性狙撃手となる道を選んだ。

イーナの指導の下、狙撃訓練学校を優秀な成績で卒業し女性狙撃手隊の一人となる。初めて敵兵を撃った時は、その衝撃で心が空虚となる。それは、平和実現のために戦い敵兵を殺すと言う戦争の論理が日常化する恐ろしさであった。

ナチスドイツとソ連赤軍(共産党)との独ソ戦(大祖国戦争)がこの物語の舞台ではあるが、今のウクライナをソ連赤軍、ロシアをナチスドイツと読み替えれば、状況はそっくりに見える。

この本の出版は、2021年11月であった事を考えると、その3か月後の2022年2月24日、ロシアがウクライナに突然侵略したことを予見しており、昨年のベストセラー3位であったことも頷ける。さらにアガサクリスティー賞も受けておりサスペンス性にも富んでいる。

戦争の悲惨さと不条理性、そして人間がこれほど残酷になれるのかが描かれておりぜひ一読されることを勧めたい。

(西澤 記)

1. チャリティーラン協賛お礼

チャリティーランに協賛金をいただきありがとうございます。した。

東京グリーンワイズメンズクラブから協賛金をいただきトロピカルフィッシュがエントリーいたしました。

お礼のメッセージが届きました。



2. クリスマスオープンハウスお礼

12月11日(日)、東陽町センターと社会体育・保育専門学校を会場に「クリスマス オープンハウス」を開催しました。オープンハウスで、恒例のバザーをはじめ、子どもコーナー、模擬店、おもちゃ病院、ラケットボール大会、各種展示などを行いました。当日は3000人という大勢の方に来ていただき、感染対策をしながらも楽しい冬の日を過ごすことができました。

ご協賛をいただいた皆様、ボランティアをしてくださった皆様、物品を寄付くださった皆様に心より感謝を申し上げます。約90万円の益金は、子ども食堂などの地域プログラム、国際協力募金、青少年リーダー養成、災害復興支援などに大切に用いさせていただきます。

ありがとうございました。

<ラッフル券をご購入の方へ>抽選結果をご覧ください。当選された方は2023年1月31日(火)までに賞品の受け取りをお願いいたします。

(木村 記)